

区立錦華公園改修について

錦華公園について

震災復興小公園として昭和4年に開園した錦華公園は、昭和42年の改修から50年以上が経過しており、老朽化が進んでいます。また、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建て替えにより、現在公園内にある幼稚園仮園舎の敷地が返還されます。そのため、地域住民や学校関係者等の意見を伺いながら、より地域に愛される公園として改修工事を行います。

改修の経緯

改修整備にあたっては、以下に示すプロセスで地域住民の方々や多様な公園利用者の声を聞きながら、錦華公園の将来像について検討しました。



意見収集 アンケート調査、利用実態調査、オープンハウス(計2回)、遊具に関する子供・保護者アンケート

アンケートやヒアリング、オープンハウスにより、隣接する幼稚園や小学校、地域住民、大学生やサラリーマンなどの多様な利用者の意見を収集し、計画・設計に反映しました。



情報発信 錦華公園だより

意見交換会の開催と合わせニュースレターを地域住民へ配布し、区のHPにおいて掲載することで、広く情報を発信しました。

第1回意見交換会 日時：令和元年12月16日(月) 18:00~20:00
場所：神保町出張所 座長：東京大学大学院 中井 祐 教授

参加者27名：4つの班に分かれて以下のテーマについて意見交換を行い、発表を行いました。
・今の錦華公園がどんな場なのか ・将来どんな場になるとよいか ・望ましい場になるためには

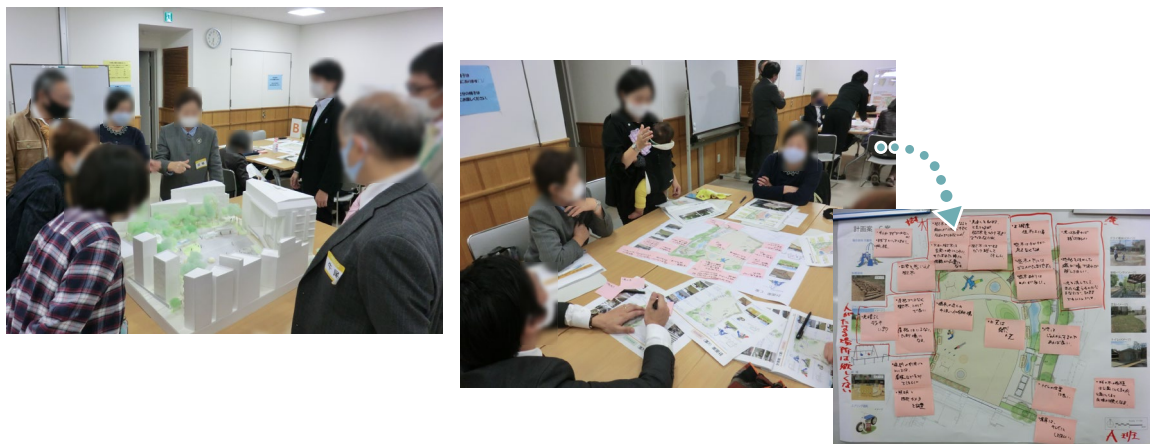
意見交換会の様子 (★意見交換会でのご意見や配布資料は区ホームページに掲載しています。)

主な意見のまとめ これまでのアンケートや意見交換会での意見の抜粋を紹介します。

<p>色分け</p> <ul style="list-style-type: none"> 良い点 課題 意見要望 	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 今のみどりや地形を活かした公園にしてほしい 見通しが良く安心安全な公園にしてほしい 遊び場や休憩施設を増設してほしい 	<p>斜面地</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔から滝や斜面を使って遊んでいた 動物や昆虫等の住処となっている 今の自然・地形を活かした整備を希望 できる限りのバリアフリー対策がほしい 斜面地を活かした遊び場を整備してほしい
<p>ステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> たまり場になっている ステージでなくても、集まれる場は欲しい 屋根のある休憩スペースがほしい 	<p>広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 水はけが悪い 遊具を増やしてほしい 芝生の部分がほしい 幼児が遊べる遊具がほしい アスレチックがほしい 	<p>池・池</p> <ul style="list-style-type: none"> 池は子供たちが生物や自然と触れ合う場 流れのない池はアスレチック的な遊び場 水が汚い 昔に比べ生物が少ない 生物多様性(ピオトープ)にしてほしい 池を復活してほしい じゃぶじゃぶ池がほしい
<p>小学校との連続性</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校との連続性を確保してほしい 学校と一体となった防災機能を確保してほしい 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校の桜を公園に移植してほしい 地域の倉庫を設置してほしい 	<p>トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚い、暗い、視認性が悪い きれいで安全なトイレがほしい

合意形成 意見交換会(計7回)

令和元年から令和3年にかけて、改修整備の基本方針から設計図について、模型やVRを使用しながらに向けて意見交換を行いました。



第2回意見交換会の予定

日時：令和2年3月25日(水) 18:00~ (1時間30分程度)
場所：神保町出張所 2階会議室
内容：整備概要案を複数案提示し、意見交換を行います。

連絡先 参加ご希望の方は、事前に下記連絡先までご連絡をお願いします。
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 TEL : 03-5211-4242
千代田区 環境まちづくり部道路公園課 計画設計係 FAX : 03-3264-4792
担当者：中村、永野、斉藤 E-mail : dourokouen@city.chiyoda.lg.jp

錦華公園の整備QRコード

改修工事の基本方針

地歴調査や利用実態調査の結果を踏まえ、意見交換会を通して改修整備に向けた基本方針を設定しました。

西側平坦部

要望や現代のニーズに合わせた「憩いや活動あふれる広場」を創出する

東側斜面部

開園当初から引き継がれてきた「自然風庭園」を保全・改善し次世代へ継承する

改修工事の内容

西側平坦部は「遊具ゾーン」「憩いゾーン」「多目的ゾーン」、東側斜面部は「保全ゾーン」として整備します。

① 遊具ゾーン



まとまった遊具スペースと安心な見守りスペースを整備

② 憩いゾーン

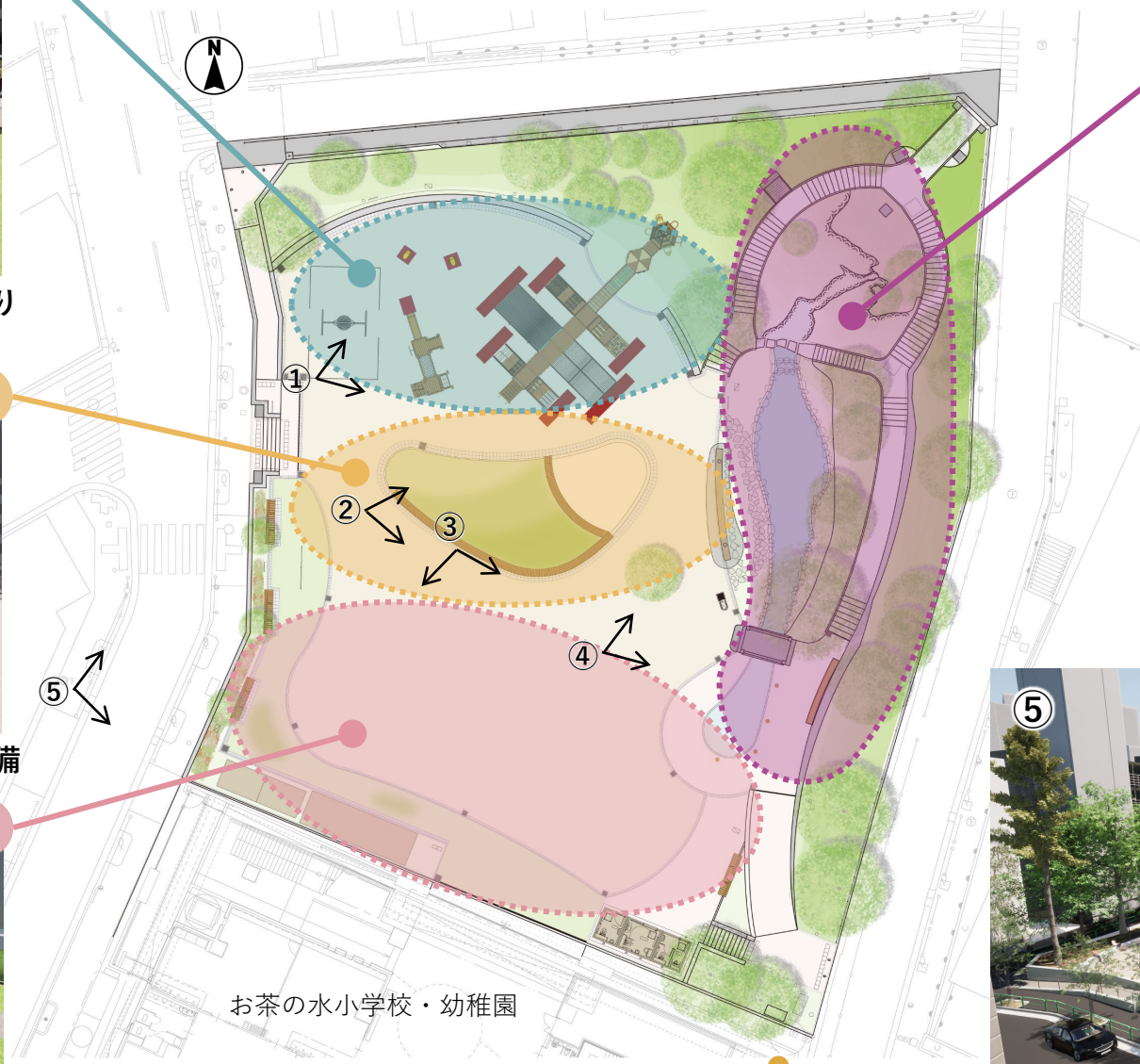


日当たりがよく多世代で使える場所を整備

③ 多目的ゾーン



子どもたちが自由に駆け回れる多目的広場を整備



④ 保全ゾーン



斜面地を保存、池を再生し、親水施設を新設

